

医療福祉会 コロナ禍 ご挨拶

昨年より 猛威を奮っているコロナ感染の予防・防御・対策につきましては、当法人は、安心安全をモットーに、徳耀会 各関連事業に於きましても、全職員一同一眼となって、最新の注意を払うべく職員各位努力して居ります。

特に

- ①トクヨウ医療グループ(医科診療所・歯科診療所)
 - ②ゆとりあグループ(老人施設GH・介護リハビリ)
 - ③在宅住診グループ(医科往診・歯科訪問・精神訪問看護・訪問リハビリ)等、
- 全職員は、コロナ感染 各予防・防御・対策・はじめPCR検査等、を毎月一回 当クリニックに於いて 受診 PCR検査を実地し、患者様 利用者様 ご家族様に、安心安全を、ご提供すべく 日夜 勤務に励行して参ります。

医療法人社団 徳耀会 理事長 榎本 安行
徳耀会 全職員 一同

平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
さて、緊急事態宣言下における当法人、徳耀会グループにおきましても、徹底したコロナ感染防御対策を行っております。全職員、出勤前後の検温、手指消毒、パルスオキシメーターによる酸素飽和度及び心拍の測定を行っており、これらは副院長の管理のもと職員の体調を確認しています。又、出勤以外の生活においても、20時以降の不要不急の外出の禁止、2人以上の外食の際は、副院長への報告と、患者様、入居者様、ご家族様の安全、安心に努めております。
今回、1月末に全職員、唾液によるPCR検査を行い、陰性という結果になりました。今後は月に一回実施していく予定です。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願っております。

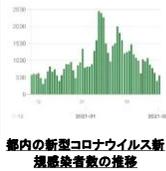
副院長 川尻・総統括グループ長 金子

新型コロナウイルス

「感染防止対策を」

内科 大薬先生

一年前武漢で起った新型コロナウイルス肺炎は、二〇二二年を迎え、今も世界中で猛威をふるっています。重症化すると細菌性肺炎とは異なつた間質性肺炎のバリエーションをとることが多く、抗生物質はききません。呼吸器装置やICMなどが救命のために必要となり、医療現場は異常な状態になっています。感染を防ぐ事が、最大の防御です。手洗い、マスク、三密をさける事、そして、私たちに備わっている生体防御システムの一つである免疫を十分高めることが有効手段です。免疫はウイルスや細菌などの異物が体内に入るとのをさまたげたり、体内で感染を広げるのを防ぐ役割をはたします。自然免疫(生まれながら体にある)、獲得免疫(異物に反応して攻撃方法を記憶する後天的な仕組み)があります。獲得免疫は異物に含まれた抗原の抗体を作り、異物を攻撃します。ワクチンはこの原理を応用し、弱めた生きつたウイルスや死滅させたウイルスを体内に入れ、抗体を作り、感染の予防や重症化を防ぎます。新型コロナウイルスはMRNAワクチンという初めての製法で作られたワクチンで、副作用は未知の部分があり、また抗体の体内持続期間も短い可能性半年以内もあります。終息しない感染症はありません。個人々が十分気を付ける事が早く終息する手道です。



「義歯の破損時の対応」

歯科 鳥田先生

今回は、入れ歯が壊れてしまったときの対処方法についてお話ししたいと思います。入れ歯は、使っているうちに金具が折れたり、落ちて割れたりというように、壊れてしまうことがあります。壊れた入れ歯は、多くの場合歯科医院に持っていき入れ歯を修理することができます。入れ歯を修理するに当たっては、修理の期間を要しますので、修理の期間をなるべく短くして使う方が早く使え、また直して使う方が早く歯を適切に取り扱っていただければ、修理できなくなってしまうこともありません。入れ歯の壊れた範囲がごく一部だけであっても、壊れた入れ歯を使うのはやめてください。中にはヒビが入っていることあり、入れ歯を使い続けることで壊れた範囲がさらに広がってしまったり、お口の中で割れたりする可能性があります。特にお口の中で割れてしまったり生じた破片を飲み込んでしまったりリスクもあります。歯科医院にすぐ予約が取れればよいのですが、歯科医院側が休みだったり、忙しく時間が取れなかったりすればしばらくの間食べにくくなってしまうかもしれません。そこで瞬間接着剤を使って自分で直したくなる気持ちはよくわかります。ですが、瞬間接着剤を使うとご自身で修理するのはやめてください。もしも直した位置で接着してしまったり、修理できなくなる可能性があるからです。壊れたままの状態では歯科医院に持っていき直すことができません。壊れた部分を取れなかったり、歯の部分が取れてしまったりもありません。それも含めて全て歯科医院に持っていき下さい。日々、入れ歯でのご定期検診も忘れずにご来院をお願いします。

佐々木 精神訪問看護師より

夏号でも運動について記載がありました。健康への意識が高まる中、高齢者の体力は向上している。体力、運動調査では60・79才を対象に毎年6万人以上で体力テストデータを得ている。調査によると65才以上では6項目テストのうち6分間歩行距離で過去最高を記録。75～79才女性の平均値は約550m。20年前の480mから大幅に伸びている。しかしこのデータは新型コロナウイルス感染症拡大前のデータであり自粛生活が続く事で外で運動する事、外出する機会すら減少している。今後この状況が続けば少なからず影響があるであろう。先にもありましたが、自宅でも出来る簡単な運動(家トレ)続ける事で高齢者に限らず体力維持につながりてはどうでしょうか。

医療スタッフの心コロム

山内心理士より

はじめまして、心理士の山内です。カウセリングや心理検査を担当しております。ステイホームが続く中、先日「インサイド・ヘッド」という映画を見ました。常に明るくしようとすると時に自分を追い詰めてしまうことがあります。たまには悲しさや寂しい気持ちも認めることも大事だと感じました。「カナシミ」も大切な気持ちのひとつ。自分の中にため込みすぎず、他者と共有することも大切です。

相田歯科衛生士より

今のご時世マスクが欠かせないですが、外して鏡で顔を見た時に、どちらかの口角が下がったりしていませんか？下がっている方は、筋力が落ち、たるんでいるかもしれません。表情筋を鍛えよう！下がっているほうで食事をするようにしてみましょう。咀嚼筋を鍛えることも表情豊かにするためにとても重要です。笑う時もすぐに笑うのではなく、ゆっくり口角を上げて笑顔を保つ。そしてゆっくり下ろしていく。難しそうですが是非試してみてください。

井口歯科衛生士より

歯茎は、薬の副作用で腫れることがあります。これを薬物増殖とよんでいます。その程度は歯と歯の間の歯ぐきが少し腫れた程度のもので歯が完全に隠れてしまうまであります。歯肉肥大は歯面に歯垢が多いと重症化することがあります。そのため日頃の歯磨きを徹底していただき、定期的に歯科に受診されお口のケアをしていただくことが大切です。

牧山看護師より

食後の空腹訴え時の接し方について 食事をしたばかりなのにそのことをすっかり忘れてしまい「ご飯を食べていない」と断える方がしばしば見られます。認知症が軽度から中度の時に良く見られる症状です。「さつき食べたでしょう」と言っても本人に食事の記憶がないのですから逆効果になります。「今受診ですませねわい」お茶でも飲んで待っていて下さいいなど声をかけると納得して安心してもらいやすいです。また寂しさを訴える手段として食事を持ち出している場合もあるので話し相手になると落ち着くこともあります。

横尾ケアマネより

つい先日、お正月を迎えたと思ったら、「2月」が近づいて参りました。「2月と言えば」・・・梅、うぐいすと春の一手手前のようなイメージです。「梅」は春の訪れを報せてくれますね。見頃は2月中旬～3月上旬で多くの品種があり、白梅と紅梅があるそうです。白梅、冬至梅(とうじばい)、春日野(かすがの)、内裏(だいり)、紅梅、八重寒紅(やえかんこう)、楠玉(すだま)、八重旭(やえあき)・・・梅の花が咲くのが待ち遠しいですね。

榎本施設長より

1月7日に緊急事態宣言が出され不要不急の外出自粛、(日中及び夜間と20時までは)極端に外出、外食を避ける、又密にならないよう心がける、そのためGHの利用者、関係者の皆様におかれましては、当分の間利用者様との接点を持たれることは出来なくなりました。引き続きご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。前回ゆとりあ通信で報告させて頂きました、「GH内共有スペースのお掃除について」は上記の内容のため3月に延期とさせて頂きました。ゆとりあでは感染予防のため、防災訓練等については、2階・3階と階ごとにスタッフが毎月実施しております。ゆとりあ通信において写真にて掲載、食レも同様にて、毎月計画実施、一時の楽しみを味わって頂いております。暦の上ではもう立春ですが、まだまだ寒さは本格的。「冷え」が気になる季節、体が冷えて気や血の巡りが悪くなったり、免疫力や新陳代謝の低下を招きます。体を温める、エネルギー代謝促進の食材は、海老、とり肉、くまひ、にら、寒さを取り除く効果は、生姜、生薬、にんにく、ねぎ、薬味等、発酵食品等、味噌、キムチ、糀(甘酒)等を取り入れ、毎日毎日を元気に過して下さい。引き続きご支援ご協力をお願い致します。

介護 コラム